

令和8年度 新宿区夏目漱石コンクール応募要項

1 名称

令和8年度 新宿区夏目漱石コンクール

(1) 読書感想文部門 (中学生の部・高校生の部)

「わたしの漱石、わたしの一行」

(2) 絵画部門 (小学生低学年の部・高学年の部)

「ここに残ったあの瞬間」

2 主催

新宿区・新宿区教育委員会

3 後援

(地方自治体) 東京都教育委員会、文京区、熊本県、熊本市、阿蘇市、玉名市、
松山市、伊豆市教育委員会、安芸太田町、鎌倉市

(大学) 早稲田大学、東北大学、二松学舎大学、東京理科大学

(企業) (株)朝日新聞社、朝日学生新聞社、岩波書店、(株)紀伊國屋書店、(株)新潮社

(地域団体等) 新宿区町会連合会、鎌倉漱石の會、一般社団法人新宿区印刷・製本関連団体協議会、
公益財団法人新宿未来創造財団

4 応募資格

1ー(1)は全国の中学生・高校生、1ー(2)は全国の小学生

5 趣旨

新宿区は、夏目漱石が生まれ育ち、その生涯を閉じたまちです。夏目漱石を知り、その作品に触れる機会を創出するとともに、漱石山房記念館について情報発信するため、若年層(小学生・中学生・高校生)を対象にした夏目漱石コンクールを実施します。

6 応募方法

(1) 読書感想文部門 (中学生の部・高校生の部)

「わたしの漱石、わたしの一行」

ア 対象図書

夏目漱石の作品 (作品の指定なし)

イ 感想文の内容

夏目漱石の作品を読み、自分の心に深く残った「一行」を選び、なぜその一行を選んだのかを表現してください。

「一行」は文章のひとつたりとし、一文に限りません。また必ずしも一行に収まらなくても良いこととします。また、本文の一人称はコンクール名称の「わたし」に限定しません。

日本語で書かれ、未発表で筆者自身のオリジナル作品に限ります。

ウ 原稿用紙の枚数

縦書き 400 字詰め原稿用紙 3 枚 (1,200 字程度) で書いてください。氏名・学校名・読書感想文題名は原稿用紙には記入せず、下記「応募用紙」に記入することとし、原稿用紙には感想文本文から書き出してください。

エ 応募用紙

所定の応募用紙に必要事項を記載し、応募用紙を作品の一番上に添えて右肩をホチキス止めしてください。応募用紙（募集チラシの裏面。コピー可）は、新宿区立施設等で配布しているほか、新宿区ホームページからダウンロードできます。

※所定の応募用紙・原稿用紙の様式 (Microsoft Word) で、電子データを提出できます。詳しくは、新宿区ホームページ (http://www.city.shinjuku.lg.jp/kanko/bunka02_002171_2026.html) でご案内しています。



(2) 絵画部門（小学生低学年（1～3 年生）の部・高学年（4～6 年生）の部）

「こころに残ったあの瞬間」

ア 絵画の内容

「うれしい」「たのしい」「かなしい」「くやしい」など、心に残った体験の一場面を自由に描く。夏目漱石作品を読んでいなくても良いこととします。

イ 規格

八つ切りサイズ (27cm×38cm・縦横自由) の画用紙を用いてください。画材は自由（鉛筆、色鉛筆、クレヨン、絵の具、マジック、サインペンなど）で手描きしてください。立体的でない貼り絵、切り絵、版画も可。八つ切りサイズの画用紙以外の作品やデジタル作品は対象外です。額装はしないでください。

ウ 応募用紙

所定の応募用紙に必要事項を記載し、作品の裏面にはがれないように貼付してください。応募用紙（募集チラシの裏面。コピー可）は、新宿区立施設等で配布しているほか、新宿区ホームページからダウンロードできます。

(3) 共通事項

ア 募集期間

令和 8 年 6 月 22 日（月）～令和 8 年 9 月 11 日（金）（当日必着）

イ 応募方法

学校単位でのとりまとめ、または個人単位で事務局あて郵送してください（持ち込み不可）。

※読書感想文は所定の様式で電子データを新宿区ホームページから提出できます。

応募は一人一通までです。他コンクールに応募済みの作品は応募できません。

ウ 応募先・お問い合わせ

新宿区夏目漱石コンクール事務局

※読書感想文部門は、「わたしの漱石、わたしの一行」係

※絵画部門は、「こころに残ったあの瞬間」係

〒100-8502 東京都千代田区内幸町 2-1-4

電話 03-6910-2419 （土日祝日を除く 10 時～17 時）

エ その他

応募用紙に記入漏れなどの不備があった場合、受付できない場合があります。

応募用紙に記入した内容に虚偽が認められた場合や応募条件を満たさない場合、受賞を取り消す場合があります。

7 審査方法

(1) 一次審査

事務局が指定するものが一次審査を行い、二次審査に進む上位作品を選定します。二次審査に進む作品数については、作品応募状況により審査委員と協議して決定します。

(2) 二次審査

新宿区が選定した審査委員長及び審査委員が作品を審査し、各賞を決定します。

審査委員は以下のとおり。

	わたしの漱石、わたしの一行	こころに残ったあの瞬間
審査委員長	北村 薫（作家）	
審査委員	小尾 眞 （日本国語教育学会会員）	南口 清二 （一般社団法人二紀会理事長）
	佐藤 裕子 （フェリス学院大学名誉教授）	藪野 健 （早稲田大学栄誉フェロー・名誉教授 日本藝術院会員）
	松下 浩幸 （明治大学教授）	
	新宿区長	
	新宿区教育長	

(3) その他

審査は部門ごとに行います。読書感想文は中学生と高校生に分けて審査し、それぞれの入賞者を決定します。絵画は小学生を低学年（１～３年生）と高学年（４～６年生）に分けて審査し、それぞれの入賞者を決定します。

8 表彰

(1) 各賞

最優秀賞 ／小学生（低学年）・小学生（高学年）・中学生・高校生 各１人

後援団体賞

／小学生（低学年）・小学生（高学年）・中学生・高校生 各６人

佳作 ／小学生（低学年）・小学生（高学年）・中学生・高校生 各１０人程度

※副賞として賞品（図書カード等）を贈呈します。また、応募者全員に参加賞を贈呈します。

※応募状況によって、入賞者の数を調整します。

(2) 入賞者の発表

入賞者には、令和９年１月以降に通知します。入賞者以外への通知は省略します。

学校単位でとりまとめて作品を提出した場合、入賞者の発表は学校を通じて行います。

受賞の権利は他人に譲渡・換金することはできません。

(3) 表彰式

令和9年3月予定

※新宿区立漱石山房記念館内の講座室で実施予定

(4) 旅費等経費

表彰式の出席に係る一切の経費は、原則受賞者負担とします。

9 その他

絵画コンクール受賞作品は新宿区立漱石山房記念館内に掲示予定です。

応募作品の著作権は主催者に帰属します。

審査結果にかかわらず、絵画の応募作品は新宿区がPRのため使用する場合があります、その際デザインや編集の都合上、絵のサイズ変更や絵の部分的な使用、絵のタイトル等を絵の上に掲載するなど一部変更する場合があります。また、印刷により実物とは色合いが多少異なる場合があります。

読書感想文は返却しません。絵画は希望に応じて着払いでのみ返却します（関東 1,000 円程度）。絵画の返却を希望する場合は、返却先について応募用紙に明記してください。なお、入賞作品は、新宿区立漱石山房記念館内に掲示予定のため返却しません。

応募用紙に記入した個人情報は、主催者及び事務局が適切に管理し、受賞者発表、参加賞の発送、受賞者への受賞通知及び賞品の発送以外には使用しません。ただし、本公募展の実施・運営に関わる作業等に際して、情報を開示することがあります。また、入賞者の氏名・学校名・学年は広く一般に公表します。

作品は本人自身の創作に限ります。本人自身の創作でないことが判明した場合は、審査対象から除外します。